

【件名】	松枝橋架け替えに伴う護岸改修工事（その3）	【事務所名】	南多摩西部建設事務所	
【工事場所】	東京都八王子市四谷町地内から同市檜原町地内まで 主要地方道八王子あきる野線（第46号）	【受注者名】	株式会社瀧澤建設	
【工期】	令和6年2月28日から令和7年7月3日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 河邊 浩	

【工事概要】

築堤・護岸：法覆護岸工 根固めブロック工
木製杵根固め工 木工沈床工
擁壁工：場所打擁壁工 プレキャスト擁壁工
仮設工：瀬替工
構造物撤去工：仮橋橋台撤去工

【表彰理由】

確実に工事完了をさせるため、ICT施工、遠隔臨場などを活用し、積極的に施工の効率化を図り、工程管理を行った。また、安全管理についても重機接触災害防止を目的として監視センサーを導入し、危険箇所の常時監視を実施した。人の注意力に拠りがちな安全管理をシステムで補完することで、労働災害リスクの低減を図るなど、安全確保に対する高い意識が感じられた。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

自然の影響（大雨・強風等）を受けやすい河川工事であり、河川内の護床工・護岸工が渇水期中にしか施工できないため、工程管理に一番留意しました。

◇ 特に工夫した点

渇水期中の工程促進を図るため、ICT施工（土工）【受注者希望型】を活用した土工の効率化と、複数の作業班を円滑に施工させる工程調整です。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

工事は様々な問題点がでしたが、計画工程の通りに完了し、無事故でしゅん工検査を終えられたときに、大きな達成感を感じました。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

建設業は色々苦労することが確かにありますが、工夫や試行錯誤をこらして、問題（壁）を乗り越えた時の達成感は大きく、やりがいのある業界です。



ICT建機による床付け作業